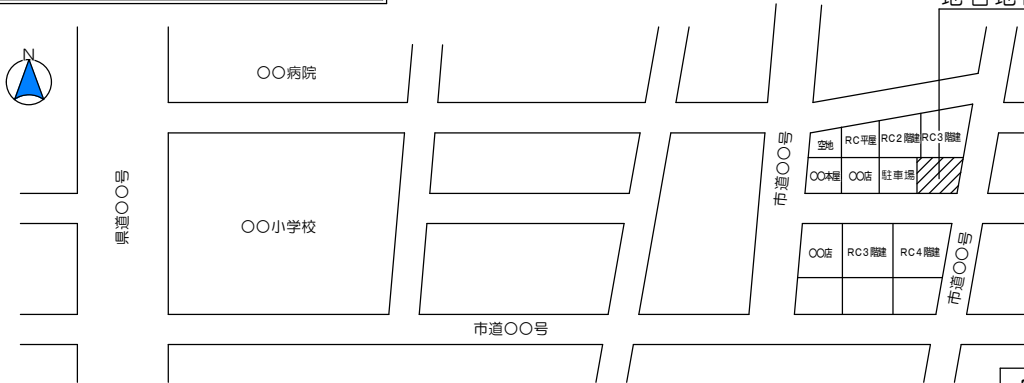


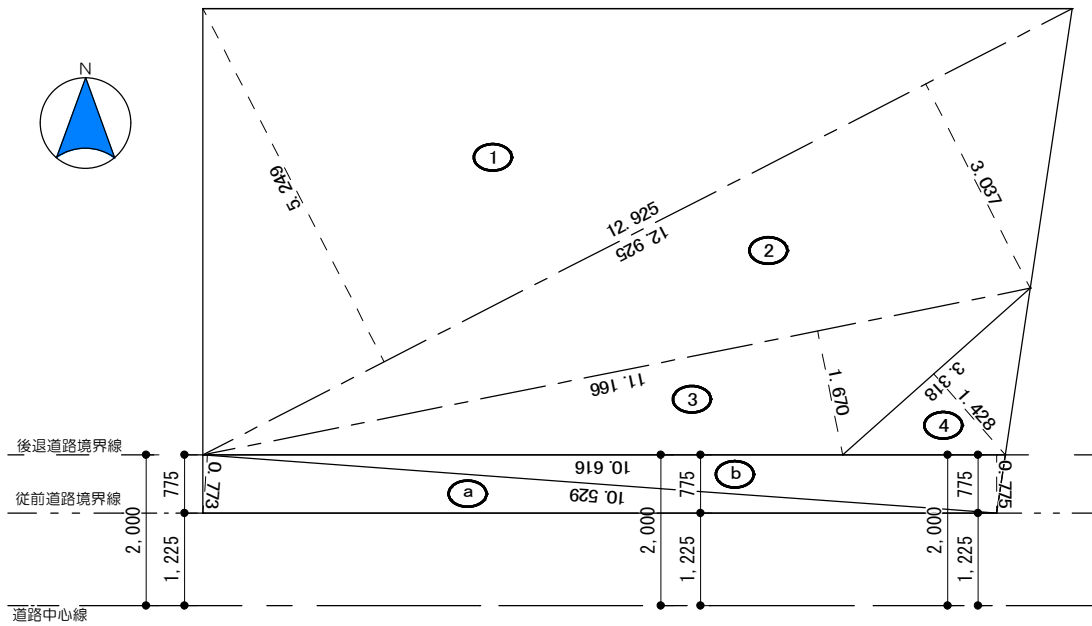
# 図面記載例

【申請敷地】  
地名地番：那覇市〇〇△丁目〇番◇



案内図 no scale

- ※ 周辺の主要な道路や目印となる施設・建物名を記載し、敷地位置が確認しやすいようにして下さい。
- ※ 現況の敷地位置を図示し、地名地番を記載下さい。（地名地番の記載方法は、住居表示とは異なり、番地ではなく「番」となることに注意すること。）



敷地面積				
番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	12.925	5.249	67.843325	33.9216625
2	12.925	3.037	39.253225	19.6266125
3	11.166	1.670	18.647220	9.3236100
4	3.318	1.428	4.738104	2.3690520
合計				65.2409370
敷地面積				65.24 m <sup>2</sup>
※ 隅切り用地面積 (B) 2.36 m <sup>2</sup> 含む。				

後退用地等面積	
8.18 (A) + 2.36 (B)	10.54
(後退用地面積) + (隅切り用地面積)	
拡幅整備面積	10.5
※ 拡幅整備面積 = 助成金等の交付対象面積	

※ 拡幅整備面積とは、助成金等交付金額の算定の関係から、小数点第2位を四捨五入して、小数点第1位までの数として下さい。

※ 敷地面積、後退用地面積、隅切り用地面積、後退用地等面積については、沖縄県建築基準法取扱基準による「面積算定の取扱い」のとおり、合計した数の小数点3位を切り捨て、小数点第2位までの数として下さい。

後退用地面積				
番号	底辺	高さ	倍面積	面積
a	10.529	0.773	8.138917	4.0694585
b	10.616	0.775	8.227400	4.1137000
合計				8.1831585
敷地面積				8.18 m <sup>2</sup>

求積図 scale = 1/〇〇〇

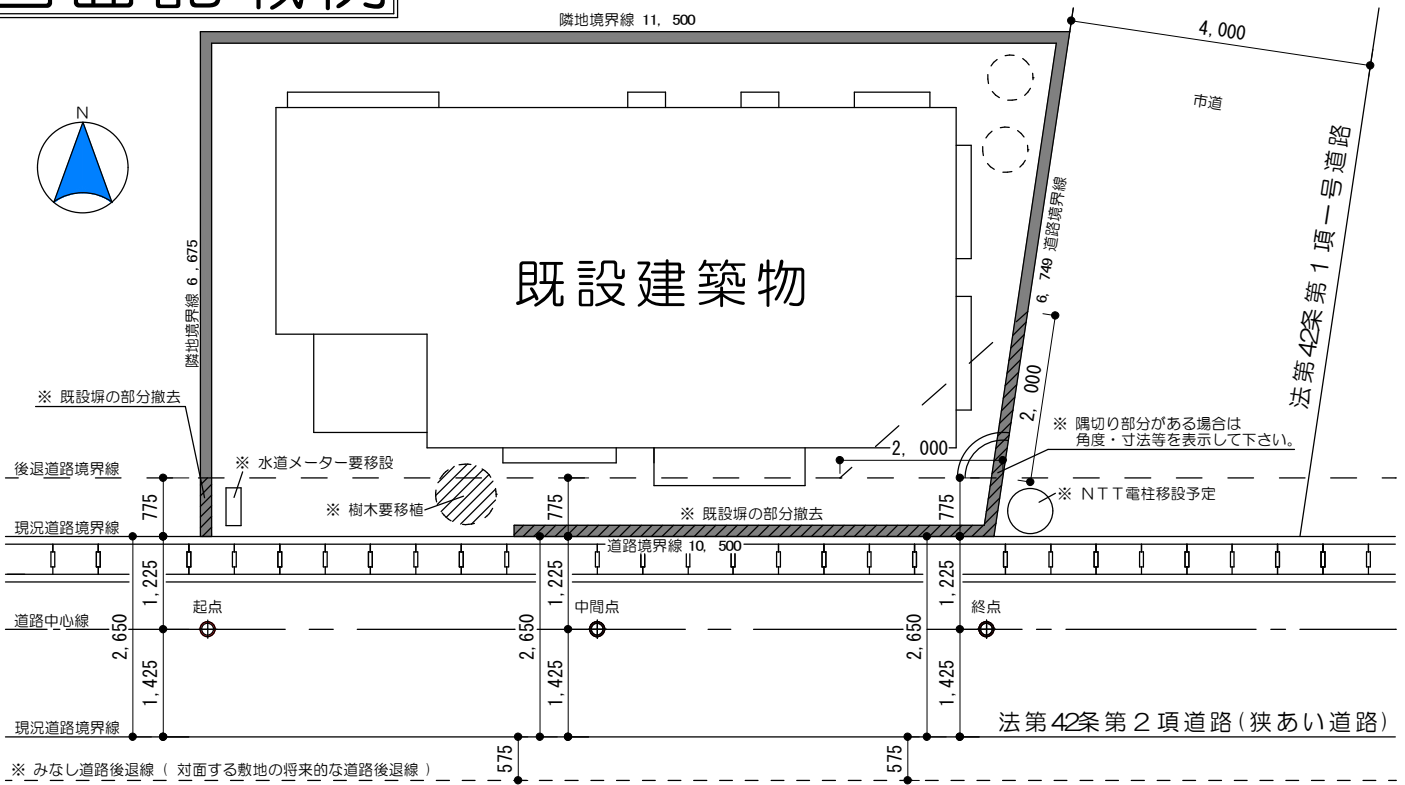
## ◆ 注意事項 ◆

- ・ 図面は原則、北を上として作図し、方位を記入して下さい。
- ・ 配置図及び求積図の縮尺は、1/100、1/200程度の見やすいスケールで作図して下さい。
- ・ 道路の表記にあつては、道路境界線は実線、道路中心線は一点鎖線等、見易いよう異なる線種にて適宜作図して下さい。
- ・ 道路中心線及び道路後退線については、建築主等が本敷地に隣接並びに対面する周辺敷地の建物・土地所有者等との協議のうえ、明示して下さい。（この制度は、建築主等の申請者が周辺敷地の建物・土地所有者と民事的に決定した道路中心線の位置を示していただくものであり、本市が道路中心線を設定するものではありません。申請前には、現地調査に加え、建築計画概要書等の資料を用いて関係する周辺敷地の建築確認の履歴やその他の協議など、道路中心線及び道路後退線の位置の調査を十分に行って下さい。）

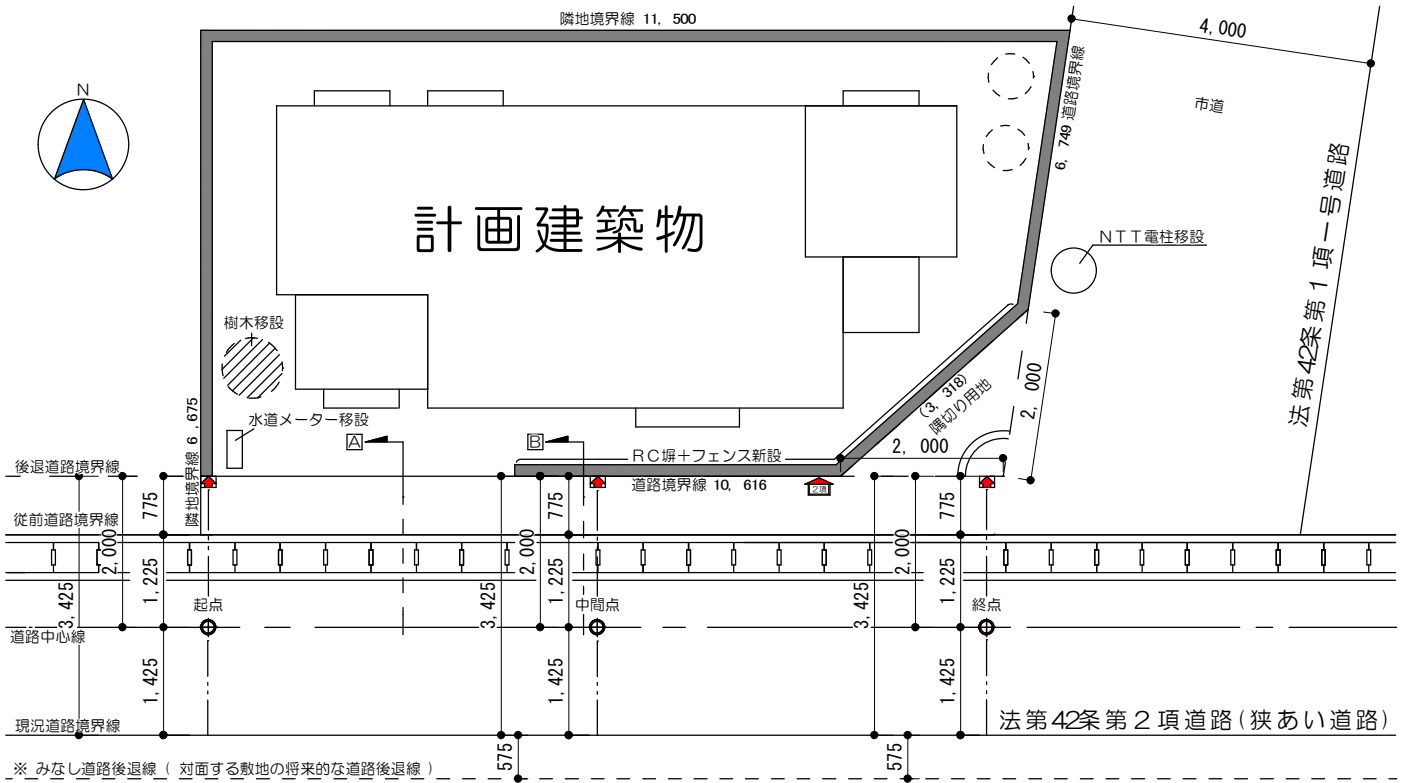
〇〇設計事務所

(仮称) 〇〇邸新築工事

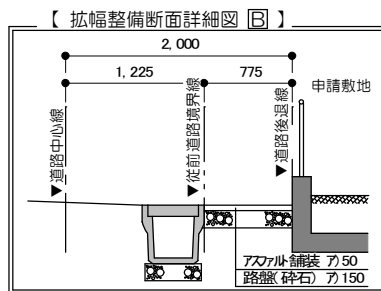
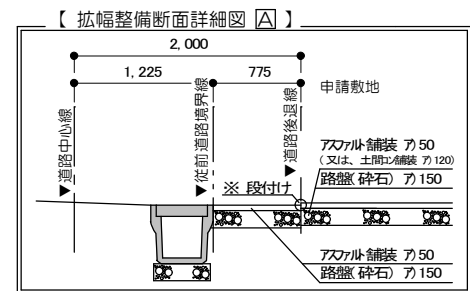
# 図面記載例



現況配置図 scal e=1/〇〇〇



計画配置図 scal e=1/〇〇〇



※ 後退用地と敷地の前後には、段や縁石又は目地等を付ける。

- 提供資材
- ② 2項道路後退線の標識  
新設RC塙上りの見易い位置に設置。  
※ 新設RC塙等の予定がない場合は、「敷地内の土間カーポート舗装等に設置。(通行・車寄せ等を考慮し、紛失恐れのない箇所)」など、設置方法は適宜ご検討下さい。
  - ⊕ 2項道路中心線  
(起点・中間点・終点の3箇所以上)
  - ① 2項道路後退線表示板  
2項道路中心線から垂直延長位置に設置。  
(提供資材は、所有者変更や地権継承時にも管理徹底する。)